

2019 年定期総会議案書

日 時：2019 年 7 月 7 日（日）

午後 13 時 00 分～午後 13 時 20 分

場 所：ドーンセンター

定期総会式次第

開会のことば

資格審査報告および総会成立宣言

議長選出

議 事

第 1 号議案「平成 30 年度（第 15 期）事業経過報告および会計決算報告」

第 2 号議案「平成 30 年度（第 15 期）会計監査報告」

第 3 号議案「2019 年度（第 16 期）事業計画案および会計予算案」

（本年度から西暦表示に変更します）

第 4 号議案「任期満了による役員改選案に関する事項」

議長解任

閉会のことば

引き続き 13 時半から、第 54 回研修会を開催します。

講演者 池内 淳子先生

（摂南大学 理工学部 建築学科教授 防災科学技術研究所・客員研究員）

『災害時医療から被災者の健康危機管理まで—技術者のできること—』

13：30～16：50 講演および質疑応答

特定非営利活動法人 都市災害に備える技術者の会



定款 (通常総会に関連する部分の抜粋)

(開催)

第 24 条 通常総会は、毎事業年度 1 回開催する。

(招集)

第 25 条 総会は、前条第 2 項第 3 号の場合を除き、理事長が招集する。

(議長)

第 26 条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。

(定足数)

第 27 条 総会は、正会員総数の 2 分の 1 以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第 28 条 総会における議決事項は、第 25 条第 3 項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

2 総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権等)

第 29 条 各正会員の表決権は、平等なるものとする。

2 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。

3 前項の規定により表決した正会員は、前 2 条、次条第 1 項第 2 号及び第 49 条の適用については、総会に出席したものとみなす。

(議事録)

第 30 条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1) 日時及び場所

(2) 正会員総数及び出席者数(書面表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。)

(3) 審議事項

(4) 議事の経過の概要及び議決の結果

(5) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人 2 人以上が署名、押印または記名、押印しなければならない。

【第1号議案】「平成30年度（第15期）事業経過報告および会計決算報告」

1. 事業内容

1.1 活動内容

- ① 大阪府立大学高専での「防災工学」
大阪府立大学高専の後期授業15コマを当NPOが受け持ち実施しました。
- ② WG活動の実施
WG-Dの草の根防災活動に集約して概ね2ヶ月に1度の割合で開催しました。旧大阪事務所を主な会場として例会を開催しています。
- ③ 研修会（防災講演会）
別紙記載のように、第51～53回の3回実施しました。会員のみならず、一般聴講者も受け入れています。
- ④ 出前講習会等
講演依頼がある際に、NPO会員の中から適切な講師を専任し、出前講習会を行いました。
- ⑤ ニュースレターの発行
不定期ですが、ニュースレターを発行しました。
- ⑥ 大阪北部地震現地調査現地調査の実施
前年度に作成したNPOの被災地調査用ビブスを着用し、6月に発生した大阪北部地震の被災地調査を実施しました。
- ⑦ 地区防災計画のための現地視察
奈良県広陵町・王寺町で現地視察を行いました。



個別の活動記録を、下表にまとめましたので、参考にしてください。

特定非営利活動に係る事業 一覧表（平成 30 年度）

定款の 事業名	事業内容	実施日	場所	従 事 者 数	受益対象者 の範囲及び 人数
防災・減災 対策の研究 および啓蒙 活動	第 51 回防災講演会『事業継続 計画 (BCP) 策定を楽しくやろ う』 講師 田中実氏	平成 30 年 5 月 13 日	大阪大 学中之 島セン ター	1 名	38 名（一 般聴講者 含む）
災害予防・ 災害発生後 の対策提案	2018. 6. 18 発生 大阪北部地震 現地調査	平成 30 年 6 月 24 日	高槻 市・枚 方市	4 名	被災地域 の住民の 方々
防災・減災 対策の研究 および啓蒙 活動	第 52 回防災講演会『熊本地震 の被災地支援から学んだこと ～災害ボランティア活動を通 して～』 講師 湯井恵美子氏	平成 30 年 8 月 5 日	ドーン センタ ー	3 名	33 名（一 般聴講者 含む）
災害予防・ 災害発生後 の対策提案	奈良県広陵町幹部職員防災研 修会	平成 30 年 10 月 23 日	広陵 町役場	3 名	広陵町幹 部職員 33 名
防災・減災 対策の研究 および啓蒙 活動	奈良県広陵町・王寺町 地区防 災計画のための現地視察	平成 30 年 12 月 22 日	奈良県 広陵 町・王 寺町	7 名	会員 7 名
防災・減災 対策の研究 および啓蒙 活動	広陵町幹部職員防災研修会	平成 31 年 2 月 1 日	広陵町 役場	2 名	広陵町幹 部職員 31 名
防災・減災 対策の研究 および啓蒙 活動	第 53 回防災講演会『2018 年 頻 発した災害—災害報道の現状 と課題—』 講師:安富 信先生 (神戸学院大学教授 日本災害 情報学会理事)	平成 31 年 2 月 9 日	ドーン センタ ー	1 名	33 名（一 般聴講者 含む）
防災・減災 対策の研究 および啓蒙 活動	奈良県広陵町防災士 NW 総会 防 災研修会(クロスロード) 主 催: 広陵町防災士ネットワ ーク	平成 31 年 2 月 24 日	広陵町 総合保 健福祉 会館	2 名	広陵町防 災士ネッ トワーク 計 60 名
防災・減災 対策の研究 および啓蒙 活動	大阪府立大学工業高等専門学校に おける「防災工学」授業、15 コマ	平成 30 年 度後期	大阪府 立大学 高専	8 名	大阪府立大 学高専 5 年 生 39 名

平成 30 年度（第 15 期）NPO 法人都市災害に備える技術者の会

会計決算報告書（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

特定非営利活動に係る決算報告書

区分	項目	予算	決算	差額	備考
収入	会費・入会金収入	255,000	240,000	-15,000	会費 40 名、入会 4 名
	受託業務	0	0	0	
	前年度からの繰越金	2,329,116	2,329,116	0	
	雑収入	1	0	-1	利息
	収入合計	2,584,117	2,569,116	-15,001	

	項目	予算	決算	差額	備考
支出	事業費	341,000	177,947	-163,053	
	(1)市民の立場にたった防災・減災対策の研究および啓蒙活動	5,000	0	-5,000	防災講習講師費等
	(2)災害の予防から始まり、災害発生後およびその後の対処法まで含めた一貫性をもった対応への相談および対策の提案	5,000	0	-5,000	
	(3)災害発生時の緊急時において、専門家集団としての行政および市民への提言	10,000	2,129	-7,871	WG 活動費
	(4)災害時要援護者に対する防災・減災を実現するための提案	10,000	0	-10,000	
	(5)防災・減災イベントへの参加及び講演会や研修会等の開催	281,000	155,514	-125,486	研修会等
	会場借用料	80,000	43,680	-36,320	
	印刷費等	90,000	25,875	-64,125	防災講演会が-資料印刷
	講師旅費	100,000	77,387	-22,613	会員外の講師旅費
	通信費	10,000	8,572	-1,428	会員へのメール便送料
	その他	1,000	0	-1,000	
	(6)防災・減災に関する教育活動の企画・運営・人材の派遣	10,000	0	-10,000	講師派遣（交通費等は依頼先負担）
	前号の活動にかかる費用	20,000	20,304	304	プロバイダ料金等
	ウェブサイト費用	20,000	20,304	304	
	管理費	83,000	43,361	-39,639	
	会議費	5,000	0	-5,000	
	旅費交通費	5,000	0	-5,000	
	備品等整備費	10,000	1,459	-8,541	事務用品
	消耗品費	5,000	0	-5,000	
	登記手数料	40,000	23,100	-16,900	決算登記費用
	交際費	5,000	10,000	5,000	
	支払い手数料(事務局費)	13,000	8,802	-4,198	事務諸費用
	予備費	0	0	0	
	支出合計	424,000	221,308	-202,692	
	(単年度収支)	▲168,999	18,692		
	当期収支差額（次年度繰越金）	2,160,117	2,347,808	187,691	

【第2号議案】「平成30年度（第15期）会計監査報告」

平成30年度（第15期） NPO法人都市災害に備える技術者の会
会計監査報告書

平成30年度（第14期）NPO法人都市災害に備える技術者の会

会計監査報告書

私たち会計監査は、平成30年度（第15期）NPO法人都市災害に備える技術者の会
会計の処理が、適正に実施されているか否かを監査いたしました。その結果、会計処理
は適正かつ正確に行われていたことを下記の通りご報告いたします。

記

1. 監査実施日時 令和元 年 6 月 20 日
2. 監査帳簿類 活動計算書
貸借対照表
仕訳日記帳
総勘定元帳
当期の証票（領収証）
預金通帳（写）

令和元 年 6 月 20 日

監事

貴志 義昭



令和元 年 6 月 27 日

監事

諸子 順



【第3号議案】「2019年度（第16期）事業計画案および会計予算案」

1.事業計画

特定非営利活動に係る事業

[会員向け活動]

1.研修会

概ね3回程度研修会を開催したいと思います。参加は会員のみならず、技術士会・防災士会・マスコミや一般市民へも呼びかけます。

2.発災後活動の開始

前年度は2018年6月18日に発生した大阪北部地震の被災地調査を実施しましたが、今後も災害発生後に被災地調査を実施したいと思います。技術者の会であることがわかるようにビブスを着用して活動をする予定です。

3.メールマガジン・ニューズレターの活用

即時性を重視し、WEBとメールマガジンによる情報発信形態を主に用います。ニューズレターは、会員からの投稿を中心に作成し、できるだけ発行頻度の向上を目指します。

4.ワーキンググループの活動

これまで通り、当NPO活動の中心として行っていきます。

5.グループウェアの活用

サイボウズのNPO支援プログラムを活用し、クラウド上で情報共有できるサイボウズofficeおよびkintoneを用いて、事務の軽減を図ります。

[社会に向けた活動]

1.講師派遣

ご依頼に応じて防災講演等に会員等を派遣します。大阪府立高専の防災工学の講義は、高専側の組織改編により今年度はありません。

2.WEB等での広報

前年度同様にイベント案内や報告をホームページやメールマガジンで情報発信するほか、各WGの活動内容も公表します。また、ニューズレターだけでなく紙のパンフレットを作成して広報に努めます。

3.市民からの相談に答える

WEBに相談窓口を設け、WGメンバーが中心となって一般市民からの相談事にも対応していきます。

4.マスコミとの連携

関西のマスコミの防災担当者の勉強会である「関西なまずの会」に積極的に参加させていただき、情報発信をより活発化させていきたいと考えています。

2019年度（第16期）NPO法人都市災害に備える技術者の会

会計予算案（2019年4月1日～2020年3月31日）

特定非営利活動に係る会計予算（案）

区分	項目	前年度実績	予算	備考
収入	会費・入会金収入	240,000	255,000	正会員42、賛助1、新入会員4
	受託業務	0	0	
	前年度からの繰越金	2,329,116	2,347,808	
	雑収入	0	1	利息
	収入合計	2,569,116	2,602,809	

区分	項目	前年度実績	予算	備考
支出	事業費	177,947	341,000	
	(1)市民の立場にたった防災・減災対策の研究および啓蒙活動	0	5,000	
	(2)災害の予防から始まり、災害発生後およびその後の対処法まで含めた一貫性をもった対応への相談および対策の提案	0	5,000	
	(3)災害発生時の緊急時において、専門家集団としての行政および市民への提言	2,129	10,000	WG活動費
	(4)災害時要援護者に対する防災・減災を実現するための提案	0	10,000	
	(5)防災・減災イベントへの参加及び講演会や研修会等の開催	155,514	281,000	研修会等
	会場借用料	43,680	80,000	
	印刷費等	25,875	90,000	防災講演会カー資料印刷
	講師謝礼旅費	77,387	100,000	会員外の講師への謝礼
	通信費	8,572	10,000	会員へのメール便送料
	その他	0	1,000	
	(6)防災・減災に関する教育活動の企画・運営・人材の派遣	0	10,000	講師派遣に係る費用
	前号の活動にかかる費用	20,304	20,000	
	ウェブサイト費用	20,304	20,000	プロバイダ料金等
	管理費	43,361	103,000	
	会議費	0	5,000	
	旅費交通費	0	5,000	旅費
	備品等整備費	1,459	25,000	サイボウズ使用料を含む
	消耗品費	0	5,000	
	登記料	23,100	40,000	決算登記費用
	交際費	10,000	10,000	
	支払い手数料(事務局費)	8,802	13,000	事務諸費用
	予備費	0	0	
	支出合計	221,308	444,000	
	(単年度収支)	18,692	▲ 188,999	単年度収入-支出
	当期収支差額（次年度繰越金）	2,347,808	2,158,809	

【第4号議案】任期満了による役員改選案に関する事項

任期満了に伴う役員の改選を以下の通り提案いたします。なお、理事定員にはまだ余裕があるため、総会当日までに役員が増員になる可能性があります。

新役員名簿

役職名	氏名	就任期間	新任	留任
理 事	山田 信祐	2019年4月1日 ～2021年3月31日		○
	石川 浩次			○
	伊藤 東洋雄			○
	片瀬 範雄			○
	太田 英将			○
	廣野 一道			○
	北 高穂			○
	西濱 靖雄			○
	大野 一成			○
監 事	貴志 義昭			○
	諸戸 順子			○

定款より

第4章 役員及び職員

(種別及び定数)

第13条 この法人に正会員の中から次の役員を置く。

(1)理事 3人以上10人以下

(2)監事 2人

2 理事のうち、1人を理事長、2人を副理事長とする。

(選任等)

第14条 理事及び監事は、総会において選任する。

2 理事長及び副理事長は、理事の互選とする。

3 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは3親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び3親等以内の親族が役員の総数の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

4 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねることができない。

(任期等)

第16条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 前項の規定にかかわらず、後任の役員が選任されていない場合には、任期の末日後最初の総会が終了するまでその任期を伸張する。

3 補欠のため、又は増員によって就任した役員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。

4 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

事務局	事務所	兵庫県西宮市すみれ台3丁目1番地 (太田ジオリサーチ内) Tel 078-907-3120 Fax 078-907-3123	WEB	http://www.toshisaigai.net e-mail:office@toshisaigai.net
	理事	山田 信祐 (理事長) 伊藤 東洋雄 (副理事長) 片瀬 範雄 (副理事長) 石川 浩次 太田 英将 (事務局長兼務) 廣野 一道 北 高穂 西濱 靖雄 大野 一成	監事	貴志 義昭 諸戸 順子
	顧問	室崎 益輝 先生 河田 恵昭 先生 向井 通彦 先生		

WG活動

WG略称	テーマ	代表者	活動情報
地震災害の軽減WG (WG-B)	津波・地震災害軽減を 考える	石川浩次	地震情報の収集や、他のイベントへの参加を行っています。WG-Dと合同で活動を行います。
地盤防災WG (WG-C)	地盤防災を考える	太田英将	住宅地・造成地など防災に関連した地域の地盤防災を考えます。新しい探査法等を試験します。
草の根防災WG (WG-D)	地域活動を考える	伊藤東洋雄	幼稚園から大学までの防災・減災出前授業を行っています。他の団体（自主防災組織や防災団体など）と連携して活動しています。他のWGとも連携をとって活動していきます。